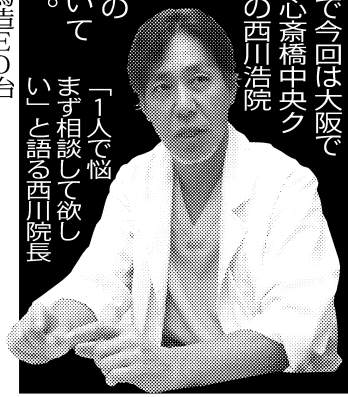
心斎橋中央クリニック・西川浩院長に聞く

正しいED治療

日本人男性の4人に1人がED（勃起障害）患者と言われ、最近はED治療の認知度も高まっている。だが、実際に医療機関を訪れる人は約1割しかいない。さらにインターネットなどで偽造ED治療薬を購入し、トラブルに遭うケースも急増中だ。そこで今回は大阪で大人気の「心斎橋中央クリニック」の西川浩院長に、偽造ED治療薬の危険性とED治療への誤解について聞いた――。



「1人で悩まず相談して欲しい」と語る西川院長

インターネットによる購入者、並行輸入品の服用経験者に対し「偽造品の可能性も高く、使用すべきではない」と言い続けている。

専門クリニックを受診せず、1人で悩んでいる男性にはEDを誤解している人が多い。EDとは「勃起機能の低下」を意味するErectile Dysfunctionの略。勃起不全（昔で言うインポテンツ）をイメージする人も多いが、実は違う。「性交時に十分な勃起が得られない、もしくは十分な勃起が維持できず満足な性交が行えない状態を指します」（西川院長）。例えば「まれに硬くなり切らない」「時々、途中で萎えることがある（中折れ状態）」といった低頻度の症状でもEDに該当する。原因はほとんどがストレスだ。

「中折れ」だけでもEDです

西川院長は「偽造ED治療薬の購入は、絶対にやめてください。最悪の場合、命に関わります」と強い口調で危険性を訴えた。

ED治療薬の大手4社合同調査によると、なんとインターネットで購入したED治療薬の55・4％が偽造品だった。これらには有効成分を全く含まないもの、全く違った成分が含まれているもの、不純物を含むものがあったというから恐ろしい。

偽造品を服用するとどうなるか。「2011年1月、国内で冷や汗やふらつきを訴えた患者が重篤な低血糖症を発症したケースが報告されている。海外でも同様の被害が多数報告されていて、中には死亡例もある」。このため西川院長はまたどのような診察をされるのか心配に思う人が多いのも事実。「診察は問診票に記入いただいた内容に沿って、EDの程度、生活習慣、病歴、現在服用されている薬、嗜好品の有無などを確認します。クリニックによっては、必要に応じて検査を行う場合もあるので事前に確認することをお勧めします。当院では最短の人で5分ほど。逆に説明を求められれば、納得するまで1時間でも話す場合があります」と西川院長は言う。

インターネットで出回る偽造薬の危険性

最短5分で診察終了 まずは専門医に相談を

最後に同院長は、まだ専門クリニックを訪れたことがない男性にこうアドバイスした。「ハードルが高いように思われますが、短時間の簡単な問診のみで薬の処方が可能です。長期間、1人で悩んでいても改善されることはありません。来られた方は一様に『もっと早く来ればよかった』と言っていますよ」。さあ、足を運んでみよう!!

【心斎橋中央クリニック】大阪市中央区南船場3―12―21 心斎橋プラザビル新館9階。※フリーダイヤル 0120・303・985。診療時間＝午前10時～午後7時（電話受付時間＝午前9時30分～午後7時）。年中無休。ホームページ＝http://www.chuoh-clinic-osaka.com/

「EDケアサポート」 検索 日本新薬株式会社